第2章

館山市の景観特性

第2章　館山市の景観特性

1　館山市の位置

館山市は、千葉県房総半島の南端に位置し、都心から100km圏、千葉市からは直線距離で約70kmの位置にあります。平坦な土地やなだらかな丘陵の谷部に市街地や各集落が形成されており、特に館山湾に面した市街地は安房地域の中心として発展してきました。

温暖な気候と輝く海、緑豊かな自然に恵まれ、冬でもポピーやストック、菜の花が咲き誇るほか、夏にはマリンスポーツや海水浴の適地として、さらには、サンゴやウミホタルの生息域として楽しめます。

北条海岸、城山公園、伊戸下芝の3ヶ所が「関東の富士見百景」に選ばれているほか、県立館山野鳥の森が「森林浴の森100選」、平砂浦海岸付近は「白砂青松百選」「日本の道100選」にも選ばれるなど、風光明媚な景観資源に恵まれています。

また、曲亭馬琴作の『南総里見八犬伝』の舞台になったことでも知られており、モデルとなった戦国時代の武将里見氏ゆかりの史跡が今でも数多く残されています。

図　館山市の位置

出典：館山市総合計画

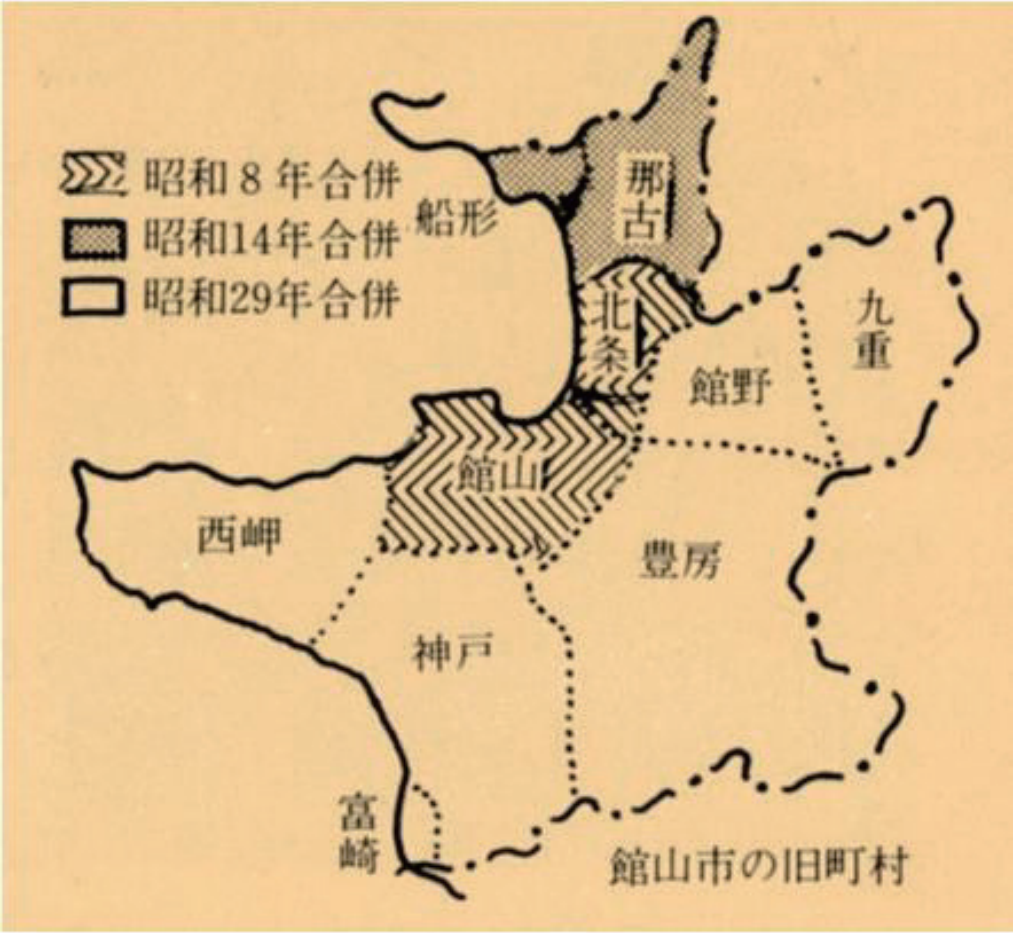
2 館山市のあゆみ

(1) 市域の形成

館山市を含む安房地域は、かつて「安房国」と呼ばれていました。現在の館山市は、昭和の初期まで、館山町、北条町、那古町、船形町、西岬村、神戸村、富崎村、豊房村、館野村、九重村に分かれていました。

昭和8年に館山町と北条町が合併し、館山北条町となり、昭和14 (1939) 年に館山北条町、那古町、船形町が合併し、千葉県内5番目の市として館山市が成立しました。その後、昭和29 (1954) 年に西岬村、神戸村、富崎村、豊房村、館野村、九重村が館山市に合併し、現在の館山市が形成されました。

図　館山市の旧町村



出典：館山市立博物館地区展図録『那古・船形　門前のまちと港のまち』

（2）館山市の成り立ち

①成り立ち

〇黒潮文化

・江戸時代までは海路が文化交流の主要路でした。房総半島は沖縄・鹿児島・四国・和歌山・伊豆からつながる黒潮文化圏のなかにあり、植生や気候に大きな影響を与えている黒潮の流れに乗ってもたらされた共通の文化が指摘されます。また、四国阿波の忌部一族が房総半島を開拓したという神話もそのひとつです。さらに、メラ・カツウラ・シラハマなどの地名が共通するのも地形と環境が類似するからです。

・江戸時代には、大型の網漁を行う関西の漁民が大挙して房総へ出漁して新しい漁法を伝え、館山湾でも桂網や地曳網などの網漁が行われました。彼らのなかには関西商人とともに移住して関西と行き来をする人々が数多くいましたが、これも黒潮という海路があったからです。

・この文化圏の民家の建て方に分棟型という形式が共通するのも、黒潮がもたらす温暖な気候が影響しています。

分棟型民家

〇信仰と祭礼にみる安房国の歴史

・房総半島を開拓したという神話を持つ忌部一族ゆかりの祖神を祀る神社が、安房神社や洲宮神社・洲崎神社・布良崎神社など複数あるのも館山市の特徴です。特に安房神社は朝廷にゆかりの深い神社として、奈良時代に神領（領地）や神戸（諸税を納める民）を与えられ、正三位の位を与えられて名神大社に格付けされました。

安房神社

・奈良時代に聖武天皇が全国に国分寺を設置すると、安房国分寺は館山市内に設けられました。北に接して安房の国府が置かれていたとされ、正木の平久里川には国府の湊も設けられて、館山平野は安房の中心地になりました。近隣にある山本の木幡神社は、古代の地方官だった大伴氏が氏神を祀ったと伝えられる古い神社です。

国分寺跡

・館山湾周辺には、観音菩薩を安置する寺院が目立ちます。観音菩薩の浄土は海の彼方にあるとされ、海を見下ろす崖観音や那古観音は漁民や海上交易をする船乗りに厚く信仰されていました。そのため、安房国札観音霊場と呼ばれる巡礼には現在でも多くの人々が参加します。

崖観音

那古寺
観音堂

・海の難所を見下ろす洲崎神社の祭神も、かつては観音菩薩と同じ存在と考えられていました。中世には洲崎神社の祭神が、神奈川や品川・江戸などの東京湾内の大きな湊町に航海神として祀られています。

・鶴谷八幡宮は、安房の国司が国内の古社を参拝するかわりに、それらの神を国府で一堂に祀った総社が起源です。後に南房総市府中から現在地へ移ったと伝えられ、その後戦国武将の里見氏が、安房支配の精神的支柱として崇敬し保護した神社です。

・「やわたんまち」と呼ばれる鶴谷八幡宮例大祭（県指定　無形民俗文化財）は、総社の祭を伝える盛大な祭礼で、近隣の古社 10 社の神輿が参集するとともに、北条地区の山車５基も参加して、大勢の参拝客で賑わいます。

洲崎神社

やわたんまち

鶴谷八幡宮

○東京湾の文化交流

・館山市内の古墳時代の豪族の墳墓は高塚の古墳ではなく、海食洞穴が利用されたことが知られています。沼の大寺山洞穴では丸木舟を棺にした「舟棺」と呼ばれるものに豪族が埋葬されていました。海上生活を基盤にして、権力を握った人々がいたことがわかります。

・鎌倉時代になると、政治の中心となった鎌倉の生活を支える米や薪炭の供給地としての役割が大きくなり、鎌倉に近い房総半島には鎌倉の権力者や大寺社の所領が増えました。鎌倉の文化も東京湾を越えて直接もたらされ、房総半島南部には、鎌倉周辺に特徴的にみられる「やぐら」という墓制が集中的にみられます。

鉈切洞穴

水岡やぐら

延命院やぐら

○里見氏の支配と城下町の形成

・房総里見氏は戦国時代初期から江戸時代初頭まで、10 代約 170 年間にわたり、房総半島南部を拠点に活躍した戦国武将一族です。初代里見義実以来、水軍を駆使して東京湾の制海権をめぐって対岸の勢力と争いました。その拠点となった稲村城や館山城をはじめ多くの城が、海上とつながる海の城でした。

・16 世紀前半、3 代義通が居城とした「稲村城跡」が、平成 24（2012）年 1 月 24 日に国の史跡に指定されました。稲村城は、主郭や切岸の規模で同時期の房総半島の城の中では抜きん出ています。

・戦国時代の終わりに里見氏が拠点を館山城へ移したのは、交易が国の運営に欠かせないものになってきたためでした。南房総で大船が入れる湊は館山をおいて他になく、館山城の麓の湊が交易港となって、館山の城下町がつくられました。安房地方の中心都市館山の誕生です。

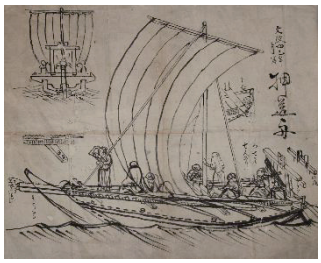
稲村城跡

館山城跡

○海でつながる江戸時代

・江戸時代になるとすぐに里見氏は亡びましたが、館山の町は維持されていくことになりました。東京湾の最奥にある江戸が政治の中心となり、多くの人々が暮らす大都市になると、江戸の生活を支える食糧や薪炭を供給するとともに、館山湾は江戸に出入する船の避難港としても使われました。また、江戸の文化が館山へ流入してくる交流の機会も生まれました。

・特に江戸の食卓を支える安房の魚類は、高速の押送船で新鮮なうちに運ばれるようになりました。館山湾にはその拠点の湊があり、船形と柏崎は生魚輸送の基地として鮮魚が集まる中心地でした。船形では幕末に石積の突堤が築かれており、現在もその姿を見ることができます。



押送船

○交通手段の変遷と市街地の変化

・明治 11（1878）年になると、館山湾と東京の間に汽船が就航します。船形・那古・北条・館山の 4 か所が汽船場となり、桟橋と各町を結ぶ道には旅館や商店・事業所などが並んで市街地が拡大していきました。明治 30 年代に海水浴が盛んになり来訪者が増えていくと、土産物屋・書店・写真館・医院・銀行などが増えて、市街地の景観も変化していきました。

館山桟橋（大正 12 年）

・大正８年に館山駅が開業すると、北条の商店は官庁通りから駅周辺へ移転するものが増え、新たな中心街になりました。関東大震災で９割以上が被災する被害を受けましたが、観光を中心に来客を迎えながら復興を遂げていきました。現在でも長須賀地区を中心に、震災復興時の建物が残っています。
・個人の移動手段が自動車となった現代では、駐車スペースが確保できる郊外に大型の商業施設が進出し、市街地の形は大きく変化しています。

館山駅前の様子（大正 12 年）

○産業・戦争・街並みの近代化遺産

・館山市が港湾都市であることや首都防衛における東京湾要塞地帯に位置していたことから、産業・軍事関係の近代化遺産が数多く残っています。
・明治期に作られたアーチ型石橋である神余の塩井戸橋や犬石の巴橋といった交通関係遺産や、幕末に造られた船形突堤や大正時代の洲埼灯台といった海事関係遺産などが、産業遺産として残されています。
・軍事関係としては、館山海軍航空隊赤山地下壕跡や館山海軍航空隊宮城掩体壕、洲ノ埼海軍航空隊射撃場跡、館山海軍砲術学校訓練用プールなどの戦争遺跡が、館山地区や西岬地区、神戸地区を中心に数多く残っています。

洲埼灯台

巴橋

館山海軍航空隊赤山地下壕跡

館山海軍航空隊宮城掩体壕

洲ノ埼海軍航空隊射撃場跡

・市街地の街並みの中には大正末期から昭和初期の建造物が点在していて、関東大震災後の復興期を偲ばせる商店や病院建築、流行し始めた個人の文化住宅などが残されています。千葉県有形文化財に指定されている旧安房南高等学校第一校舎は、昭和初期の千葉県を代表する学校建築です。昭和５（1930）年に古くからの日本の木造建築と西洋建築の要素を融合させて建てられました。昭和 30 年代初頭、館山・白浜・鴨川・小湊等を舞台に製作された映画のロケに使用されたのを始め、これまで多くのドラマ等のロケに使用されています。

旧安房南高等学校第一校舎

長須賀の街並み

②文化、芸術

○地域性のある伝統工芸

・房州うちわは、京都の「京うちわ」、四国の「丸亀うちわ」とともに日本三大うちわの一つとして、南房総で育まれ受け継がれてきた千葉県を代表する国指定の伝統的工芸品です。館山市は江戸時代からうちわの原料となる女竹の産地として知られ、明治時代には地元での生産も始まりました。関東大震災後には本格的な生産が始まり、生産工場周辺の人々の内職として地域経済にも大きな役割を果たしました。一枚の房州うちわができるには、原料の竹の伐採から始まります。虫がつかず肉が締まっている10月から1月の寒い時期に安房郡市一円から伐採されてきます。

房州うちわ

・鍛冶職人の技法の継承・鍛冶産業の振興を目的に、千葉県内の伝統的な鍛冶製品が「千葉工匠具」として、平成29（2017）年に国の伝統工芸品に指定されました。館山市では、明治時代から酪農の飼料草を刈るために重宝されていた「房州鎌」、日露戦争の激戦地であった203高地で、ロシア軍の鉄条網を断ち切ったとされる、「金切り鋏（君万歳久光）」の2品が千葉工匠具として伝統工芸品に指定されています。

房州鎌製作の様子

房州鎌

金切り鋏（君万歳久光）

・唐桟織（とうざんおり）は、渋みある色調とモダンな縦縞が特徴の美しい綿織物です。植物染料での染色から織りまでを一人の職人が行う、伝統的な唐桟織の技術を受け継いでいるのは館山の「齊藤家」だけで、千葉県指定無形文化財の唐桟織製作技術保持者として指定されています。

唐桟織製作の様子

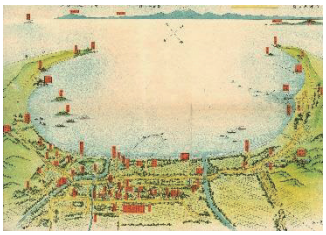
○景観に魅せられた文人・芸術家

・江戸時代以来、館山市には多くの文人が訪れてきました。漢詩人や俳人・画家などの文人と交流する地元の文化人が数多くいたのです。特に明治時代になると、館山湾の海岸は避暑避寒地・療養地として知られるようになり、政治家や軍人・経済人で別荘をつくる人々が増えました。明治 20 年代には、海水浴も始まっています。

・明治 18 年頃、北下台に館山公園が供用開始されると、眺望の良い海辺の高台が公園として整備されるようになりました。明治 41(1908) 年には、柏崎の国司神社裏に豊津公園ができ、大正時代には船形に丸山公園、汐切山公園などが作られて、観光客を迎えるようになっていきました。

・洋画家青木繁が布良に 2 か月間滞在して重要文化財の『海の幸』を描いた「小谷家住宅」は、青木繁の活動を支えた地元の人々とのつながりを示す近代化遺産として、市の有形文化財に指定されています。青木繁の後には、布良の風景を描く画家が大勢来訪しました。

・東京美術学校で石彫を学んできた館山の俵光石の帰郷により、その縁で移住してきた近代彫刻の大家長沼守敬、館山の小学校で自由画教育を実践した倉田白羊、壁画家寺崎武男などのように、地元の人々と交流した文人・芸術家も数多くいました。

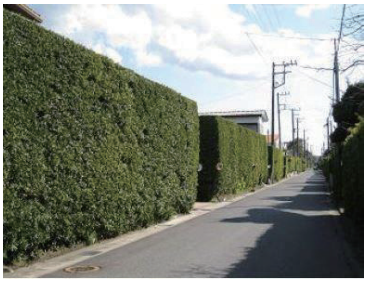


房州鏡ヶ浦八景図

小谷家住宅

○集落景観の形成

・千葉県の木でもある「槇（マキ）」は、館山市をはじめ県南部の海浜集落や郊外の農村集落で、防風、防潮、防火、防犯などの効果を目的に、家の周囲を生垣で囲う際に使用されています。北条鶴ヶ谷の住宅街は、明治時代初期に長尾藩の武家屋敷が区画整理された際に槇の生垣が取り入れられました。また、鶴谷八幡宮周辺では、敷地の広い住宅が隣接し合うこともあり、八幡の祭礼を前にしてきれいに刈り込まれた槇の生垣の連なりが、美しく迫力を感じさせます。この地域の集落景観は、千葉県教育委員会より「ちば文化的景観」に選定されています。



鶴谷八幡宮周辺槇の生垣

③景観形成につながる取組

○南欧風の街づくり

・当時、県内での東京湾横断道路等の巨大プロジェクトが進展していたことや、総合保養地域整備法に基づく重点整備地区に館山市が指定を受けたことなどから、「海洋性リゾートタウン館山」として、西の玄関口（現在の館山駅西口地区）を整備する必要がありました。

・この館山駅西口地区土地区画整理事業をきっかけに、個性ある住みよいまちづくりを実現するため、平成元（1989）年に館山市街並み景観形成指導要綱を制定し、地域住民が中心となり南欧風の街づくりを推進しています。

・平成 12（2000）年度には、館山駅西口地区街づくり協議会の提案に基づいて整備された「館山駅オレンジロード・西口なぎさ広場・夕映え通り」が、「手づくり郷土賞」（国土交通大臣表彰）を受賞しています。

館山駅西口

○港のまちづくり

・館山港港湾振興ビジョン（平成 14 年 3 月）に基づき、港を活用した地域振興策として、クルーズ船の誘致活動を積極的に展開しています。

・早春から8月ごろまで大型クルーズ客船が寄港することから、特定の時期にだけみられる船舶景観を望むことができます。

・また、海に開かれた「みなと」を核とした地域づくり及び人づくりのきっかけとすることや、海運・船舶・港湾・クルーズなどへの関心を持つことを目的に、「船舶寄港記念フォトコンテスト」に取り組んでいます。

帆船日本丸

ぱしふぃっくびいなす

○花のまちづくり

・来訪者向けのイメージづくりと地域のコミュニティや日常生活における潤いの創出を目的に、町内会や各種団体等と行政が協働して「花のまちづくり」を推進し、彩りのある街並み景観を形成しています。

・また、平成 25（2013）年度より、「たてやまガーデニングコンテスト」を年に1回開催しており、そのコンテストの応募に向け「たてやまガーデニング教室」を開催するなど、「花のまち館山」というイメージ醸成に取り組んでいます。

ガーデニングコンテスト受賞作品

館野小学校前のひまわり

④館山市の歴史概要

紀元前2400年ごろ	沼サンゴ層が陸地化する
紀元前2000年ごろ	鉈切洞穴で人が生活
養老2(718)年	安房国成立
治承4(1180)年	源頼朝が安房に敗走してくるが、千葉介常胤(ちばのすけつねたね)、上総介広常(かずさのすけひろつね)らを味方につけ、頼朝軍は鎌倉へ
康正2(1456)年	里見義実が稲村城で安房を支配
天正19(1591)年	里見義康が館山城に移り城下町を建設
慶長19(1614)年	里見忠義が倉吉に改易。里見氏の支配が終わる
元禄16(1703)年	元禄地震。館山周辺で約4～5mの隆起が起こり、布良・相浜で大津波被害
文化7(1810)年	白河藩主松平定信が異国船警備のため波左間に陣屋を設け、洲崎に台場を築く
明治3(1870)年	長尾藩が北条鶴ヶ谷に陣屋を築き、槇の生垣の武家屋敷地が整備される
明治11(1878)年	東京ー館山間に汽船就航
大正7(1918)年	那古船形駅開業
大正8(1919)年	安房北条駅(現館山駅)まで鉄道開通 内房と外房の境界に洲埼灯台点灯
大正10(1921)年	九重駅開業
大正12(1923)年	関東大震災。館山周辺で1～2mの隆起が起こる
昭和5(1930)年	館山海軍航空隊設置
昭和8(1933)年	館山町と北条町が合併し、館山北条町となる
昭和14(1939)年	館山北条町、那古町、船形町が合併し館山市成立
昭和24(1949)年	平砂浦の砂防林工事開始(1958年に完成)
昭和28(1953)年	警備隊(のちの海上自衛隊)館山航空隊開隊
昭和29(1954)年	西岬、神戸、富崎、豊房、館野、九重の6ヵ村が館山市に合併
昭和33(1958)年	海岸線が南房総国定公園に選定
昭和41(1966)年	南房州有料道路(房総フラワーライン)開通
昭和45(1970)年頃	花、いちご、センリョウ、レタスなどの栽培が盛んになる
平成元(1989)年	館山市街並み景観形成指導要綱の制定 館山駅西口地区土地区画整理事業の事業認可・決定(2010年事業終了)
平成5(1993)年	館山バイパス全線開通
平成19(2007)年	館山自動車道全線開通 景観行政団体に移行
平成22(2010)年	館山夕日桟橋竣工
平成24(2012)年	里見氏城跡稲村城跡が国指定史跡に指定される
平成25(2013)年	たてやまガーデニングコンテストの開始(年1回)
平成27(2015)年	館山市街並み景観指導要綱の改正

3 景観形成に係る特徴

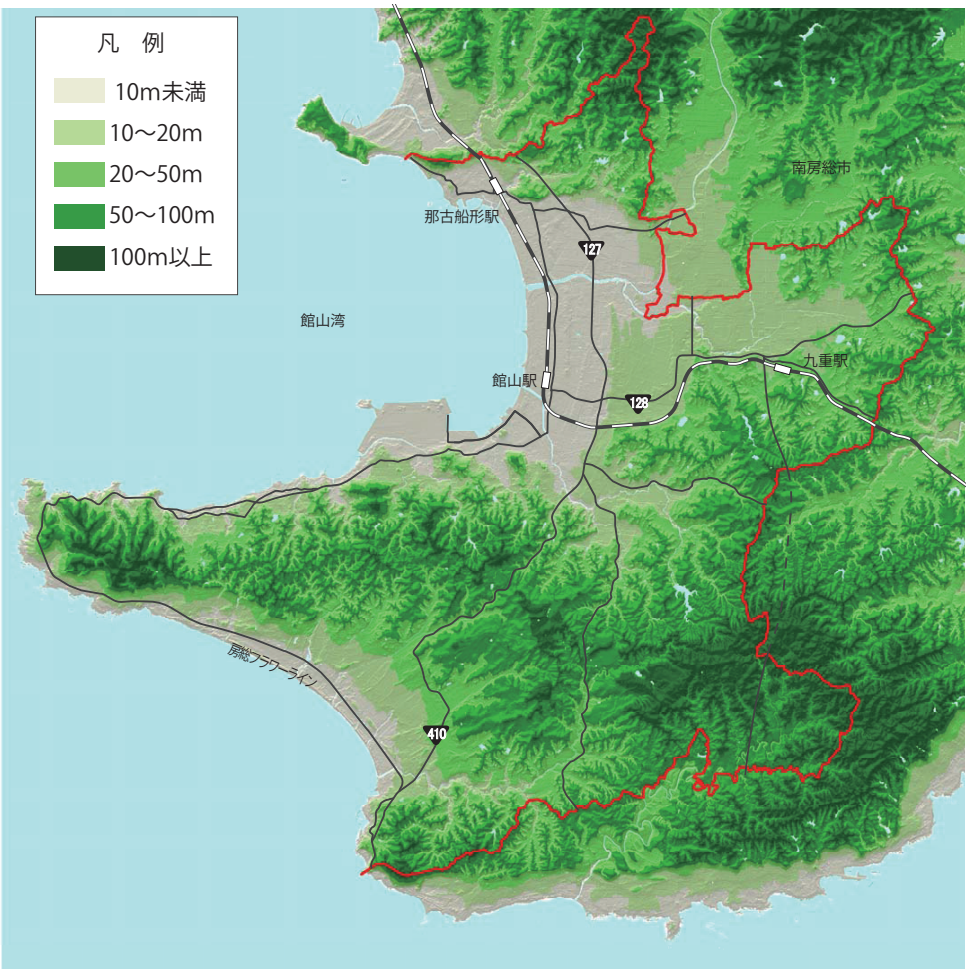
(1) 地形

館山市は、房総半島の南端に位置し、西は穏やかな館山湾、南は黒潮踊る太平洋に面しています。また、内陸部は、隆起性の海岸平野と低い丘陵性の山地からなる、変化のある地形です。

縄文時代には現在よりも海水面が高く、現在の標高27mのところに海水面があったことから、市内では、6,000年前に生息していたサンゴの化石層である沼サンゴ層や、波の浸食作用を受けた海食洞穴[1]が多く見られます。

また、幾度もの地震による陸の隆起も地形に影響を与えており、隆起地形の観察や太古の地層の観察をすることもできます。潮流によって砂州[2]でつながった沖ノ島の陸続きが特徴的です。

図　標高等高線図



（出典）基盤地図情報数値標高モデル５ｍメッシュ（国土地理院）をもとに作成

1 海食洞穴：海岸の崖に波で侵食されてできた洞窟。
2 砂州：海岸線をやや離れて、海側に細長く砂礫が堆積してできた地形。

（2）土地利用の状況

①館山湾を中心に形成された市街地

館山市の面積の約２割が住宅や商業・業務施設、学校や公園等の公共施設などに利用されています。

また、かつては砂丘列[3]の上に住宅ができたため、館山湾に並行した市街地が形成されているのが特徴です。特に館山駅を中心に商店街や住宅地が広がっているほか、国道や県道などの幹線道路沿道に住宅地や商業地が広がっています。

加えて、漁港、寺の門前の周辺では、古くから市街地が形成されてきました。

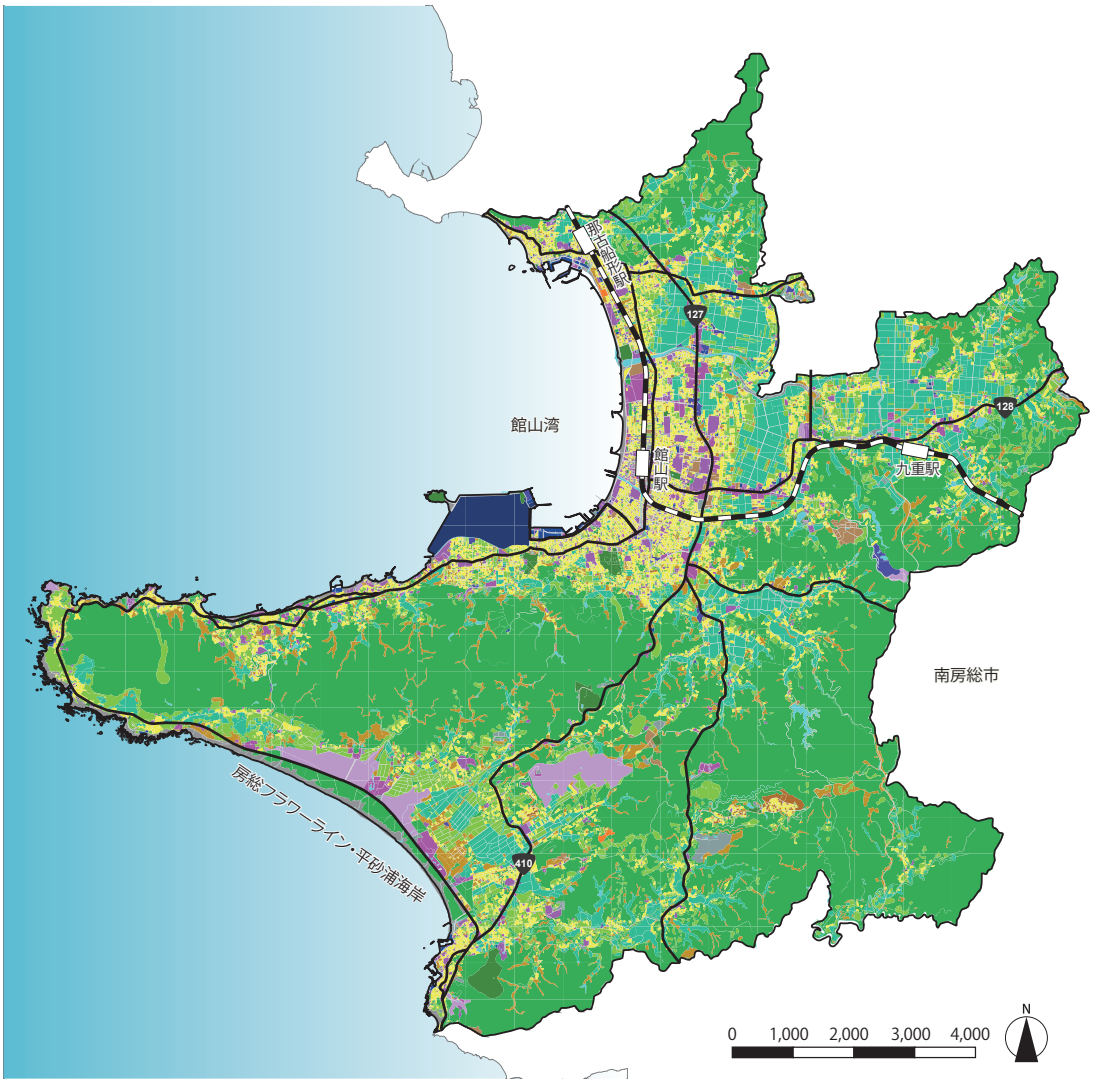
②市域の８割が自然的土地利用

館山市の面積の約５割で山林、約３割で田畑等の自然的土地利用がなされています。

山林では、照葉樹林からなる丘陵のほか、海岸沿いでは防砂林が広がります。市内の農地は田と畑地がほぼ半々という状況です。

3 砂丘列：砂丘は、むかし波打ち際にあったもので、海岸に砂が吹き付けられてできた丘。長い歴史のなかで地震による土地の隆起などがあって、海岸線が後退し、いく度かにわたって砂丘がつくられ、列をなしてきたものを砂丘列という。

図　平成 28 年度土地利用現況図



凡例

- 農地（田）
- 農地（畑）
- 農地（採草放牧地）
- 農地（荒地、耕作放棄地、低湿地）
- 山林
- 水面（河川、湖沼、運河水面等）
- その他自然地（原野、河川敷、海浜等）
- 住宅用地
- 商業用地
- 工業用地
- 運輸施設用地
- 公共用地
- 文教・厚生用地
- 公園・緑地、広場、運動場、墓苑
- 未利用地
- その他の空き地・未舗装地
- 用途改変中土地
- 屋外利用地
- 防衛用地
- 道路用地
- 交通施設用地
- 主要幹線道路
- 鉄道
- 館山市域

地目	面積（ha）	割合	
農地（田）	1292.709	11.76%	77.14%
農地（畑）	1048.685	9.54%	
農地（牧草放牧地）	7.337	0.07%	
農地（荒地、耕作放棄地、低湿地）	512.646	4.66%	
山林	5349.695	48.66%	
水面	110.082	1.00%	
その他自然	158.892	1.45%	
住宅用地	1013.079	9.22%	22.86%
商業用地	208.097	1.89%	
工業用地	44.85	0.41%	
運輸施設用地	40.164	0.37%	
公共用地	48.757	0.44%	
文教・厚生用地	171.099	1.56%	
公園・緑地、広場、運動場、墓苑	94.723	0.86%	
未利用地	177.185	1.61%	
その他の空き地・未舗装地	26.226	0.24%	
用途改変中土地	5.448	0.05%	
屋外利用地	114.075	1.04%	
防衛用地	107.844	0.98%	
道路用地	446.902	4.07%	
交通施設用地	14.659	0.13%	
計	10993.15	100.00%	100.00%

出典：第 10 回都市計画基礎調査（館山市　H28）

(3) 自然・花・みどり

市域の南部や南房総市との区域境には、まとまった緑の空間が広がっており、自然豊かな景観が広がっています。

市街地には大規模なまとまった緑の空間はないものの、屋敷を囲む槇の生垣が続く美しい集落景観がみられるほか、幹線道路沿いに南方を思わせるソテツやヤシなどの街路樹や館山市のイメージフラワーである菜の花やポピーが植栽されていることで、彩りのある景観の骨格を形成しています。

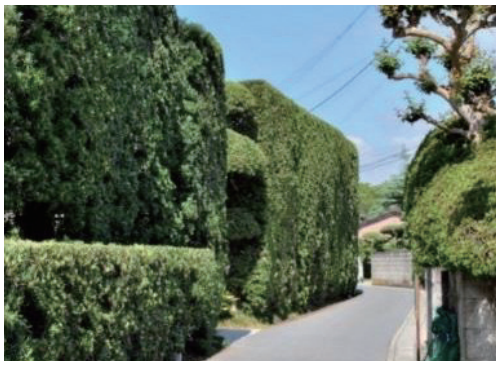
ヤブニッケイ、タブノキなどの照葉樹、南方を思わせるソテツ、シュロ、カイコウズなどが自生する沖ノ島や美しい白砂が広がる平砂浦海岸など、海岸沿いのほぼ全域が南房総国定公園の区域となっており、海と緑に囲まれた館山市を象徴する豊かな自然景観を望むことができます。

館山市の取組として、イメージづくりや潤いのある空間を創出することを目的とした花のまちづくり活動により、マリーゴールド、ポーチュラカ、パンジー等の花を地区花壇に植え、地域の街並み景観に彩りを与えています。

里山

安房グリーンライン

沖ノ島



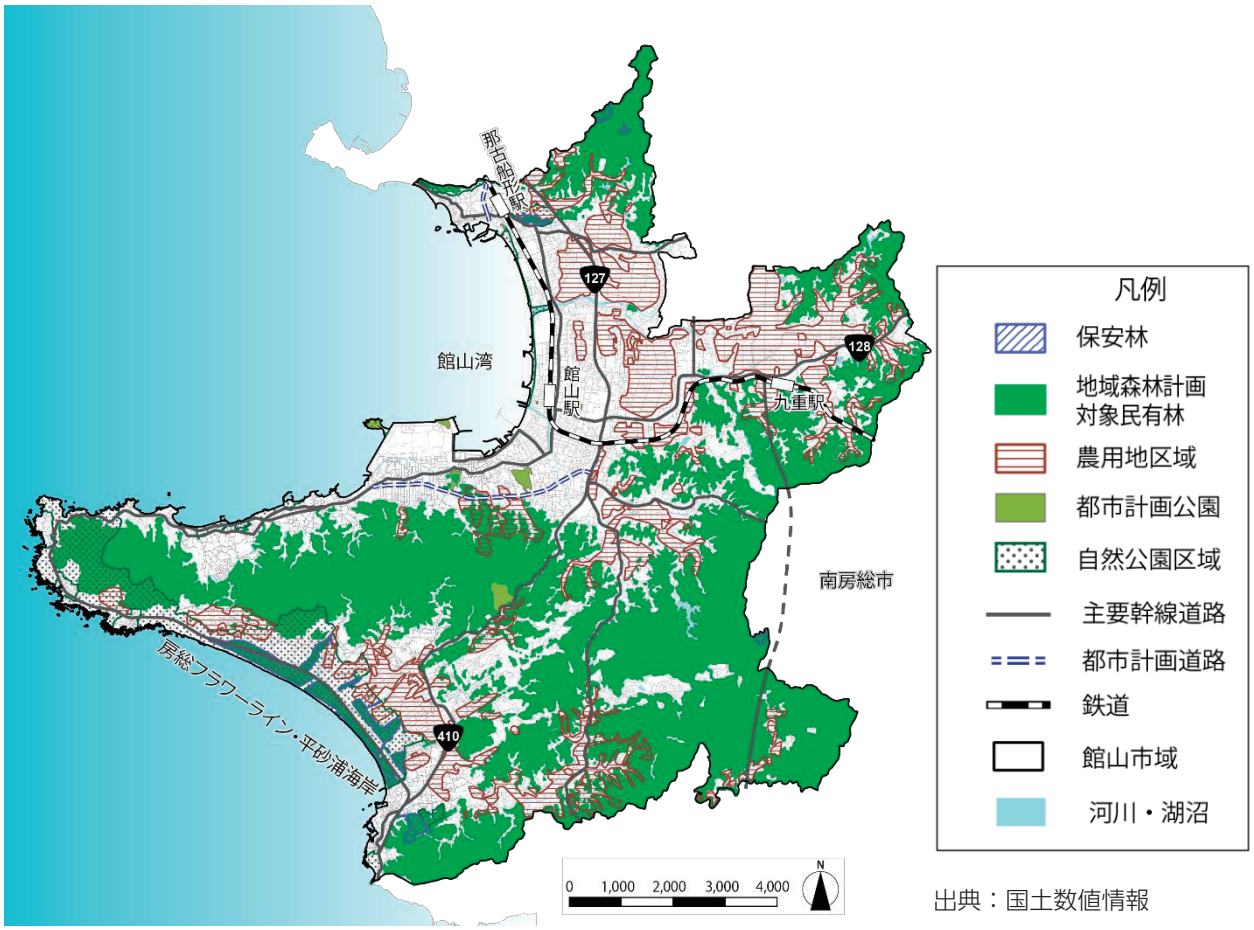
槇の生垣の連なり

館山駅西口

国道 127 号（館山への入口）

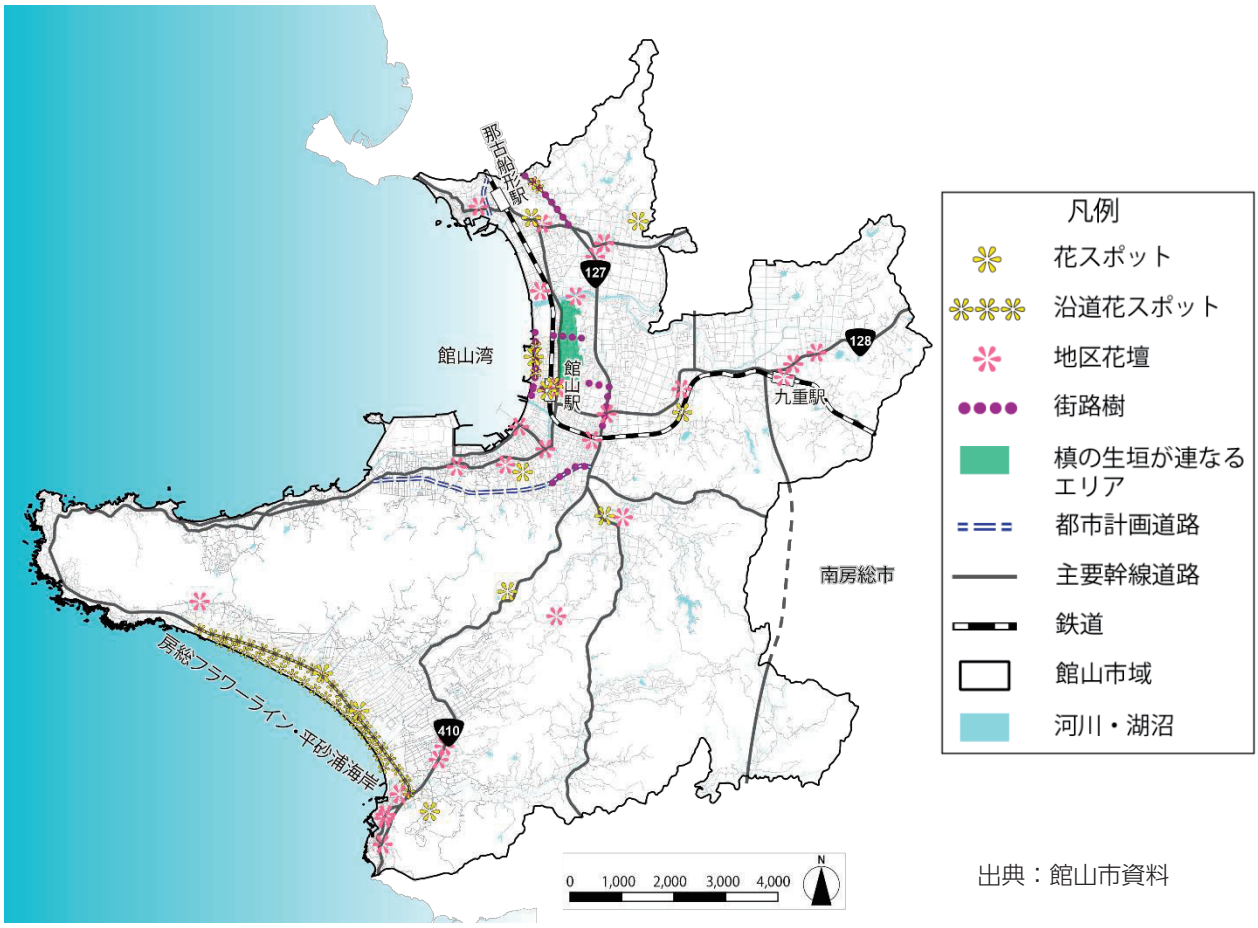
出典：館山市 PR 冊子、撮影

図　まとまりのあるみどりの分布図



出典：国土数値情報

図　市街地のみどりの分布図



出典：館山市資料

（4）街並みの様子（景観を構成している要素別）

①海岸沿い

・館山湾に面して、北条海岸が広がり、遠浅で砂浜と松林があったことから、海水浴場として明治時代から親しまれています。ヨットやウィンドサーフィン、SUP（スタンドアップパドルボート）などのマリンスポーツも盛んで、海岸沿いの賑わいにつながっています。北条海岸からは富士山を眺めることもできるほか、館山湾に沈む夕日は、あたり一面をオレンジ色に染め、その光景は格別です。
・洲埼灯台は、富士山や伊豆大島、三浦半島などを眺めることができる視点場です。「恋人の聖地 鏡ヶ浦から富士の見えるまち館山」にも認定され、デートスポットになっています。
・館山下町交差点から南房総市和田町までの約 46 kmの海岸線を房総フラワーラインと呼び、1 年中、季節の花が道沿いを彩っています。

②丘陵地

・常緑広葉樹のスタジイやタブノキ等からなる暖帯林が茂り、冬でも豊かな緑色の景観を楽しむことができます。特に、4月末頃からはマテバシイの若芽が輝き出し、新緑の丘陵が美しくなります。
・丘陵地からは海、田園、富士山などを俯瞰して眺めることができます。

③農村

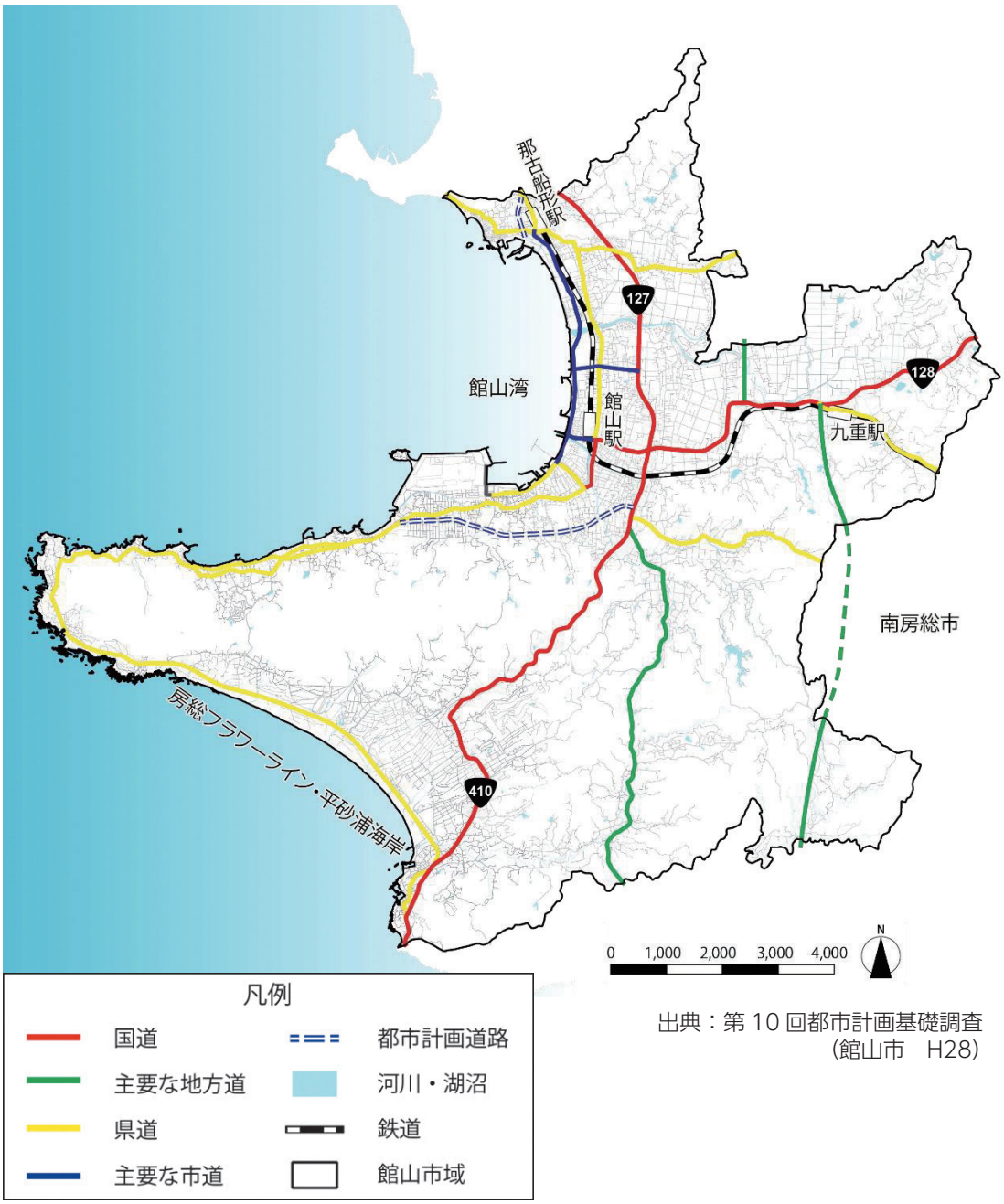
・田園が広がる地域では、海まで高い建物や丘陵地がなく、対岸の富士山を眺めることができます。
・キジなどの野鳥に出会えるほか、周辺に夜間照明が少ないことから、きれいな星空を見ることができます。
・レタスやイチゴなどの畑では、防蛾灯や補光により独特の良い夜景を創りだしています。
・堰の周りには桜が植えられているなど、季節を感じる景色を眺めることができます。
・有害鳥獣が山から農地や民家の近くまで来るようになりました。また、最近では休耕地や耕作放棄地、空き家が増えてきており、農村、集落の景色が失われる懸念があります。

④漁港周辺

・船形や西岬、富崎は、昔から漁業が盛んな地域です。平地が少ないことから、漁港を中心に家が集まり、海岸段丘[4]に漁村集落が形成されているのが特徴です。
・漁港周辺では、良好な海の景色、漁業の活気、後背に迫る傾斜地や丘陵地などが相まって、ドラマのロケに使われるほどのすばらしい景色を残しています。

4 海岸段丘：過去の海底が相対的に隆起して形成された、階段状の地形。

図　道路網



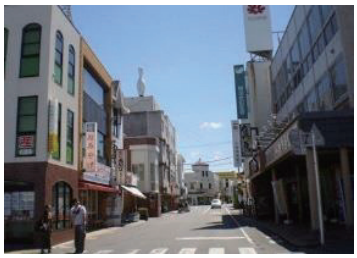
出典：第 10 回都市計画基礎調査
（館山市　H28）

⑤幹線道路沿道

・国道 127 号、128 号沿いには、商業施設が立地し、建物、屋外広告物等により、賑やかな景観を形成しています。
・国道 127 号沿いには街路樹としてヤシの木が植えられており、温暖な海沿いの都市のイメージを形成し、訪れる人にとって魅力ある景観づくりにつながっています。北条小学校付近では、道路に沿って遮音壁及び植樹帯が設けられています。温かみのある石積みの壁とヤシやソテツが調和し、遮音機能だけでなく、沿道の雰囲気づくりにつながっています。

⑥中心商業地

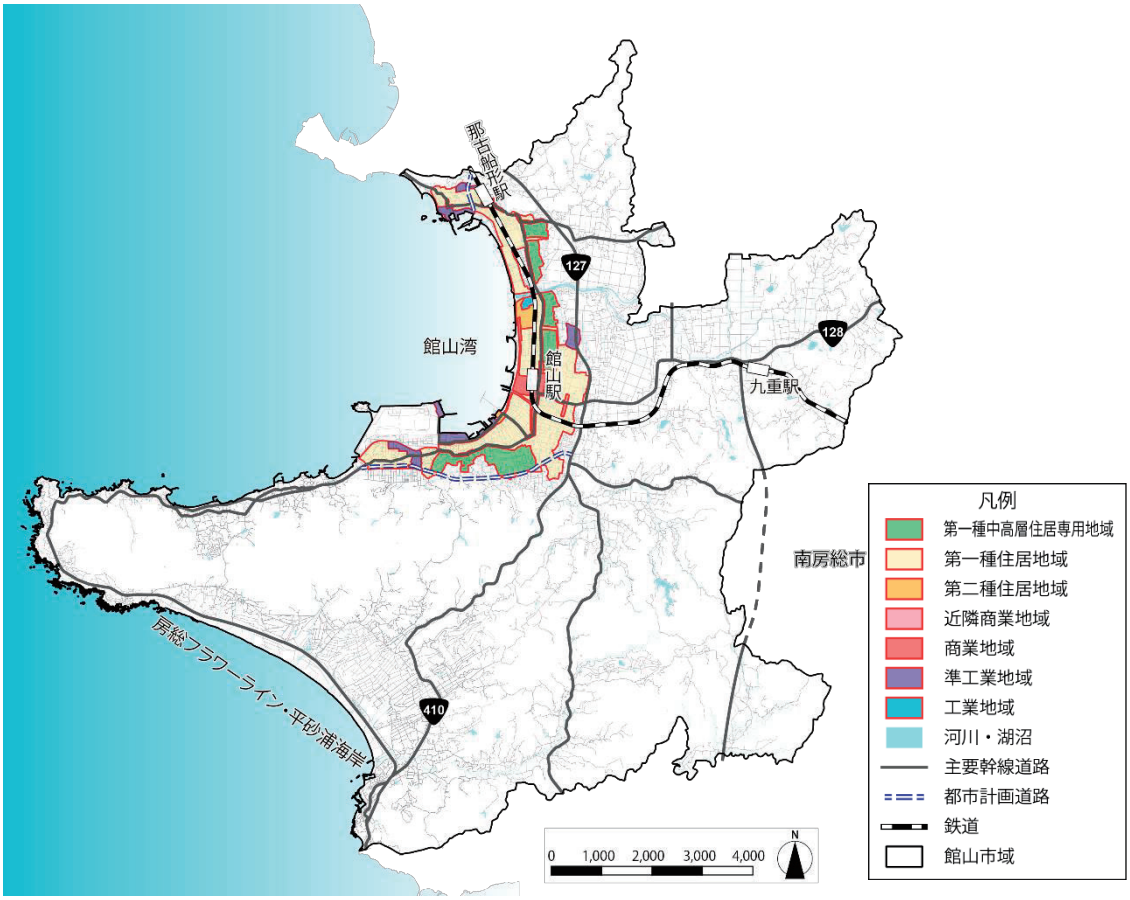
・館山駅を中心に商店街が広がっています。
・特に、館山駅西口では、土地区画整理事業をきっかけに、個性ある住みよいまちづくりを実現するため、地域住民が中心となり南欧風の街並みづくりに取り組んでいます。館山駅舎や西口駅前広場なども含め、街並みを統一しました。
・館山駅東口には古くから商店街が形成されています。最近ではかつての活気が失われつつあり、建物は建築当時のまま、古い街の面影が残っています。
・その他にも、古い蔵造りの店舗等があり、関東大震災後の大正末期から昭和初期の面影を感じることができます。



⑦住宅地、集落地

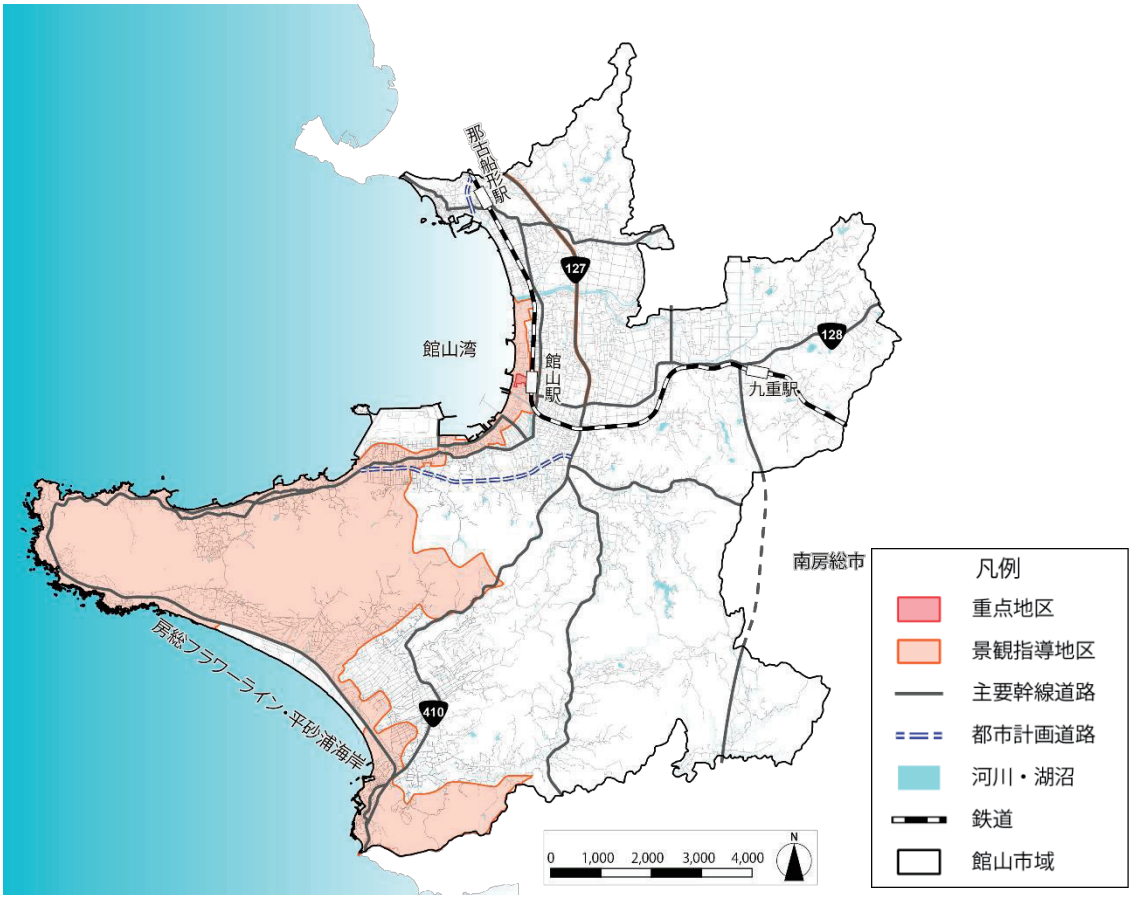
・市内では、敷地を槇の生垣で囲む住宅が特徴的です。特に八幡地区の周辺では、よく手入れが行き届いた槇の生垣が連なり、美しい集落景観を形成しています。中には、高さ５ｍを超えるものがあり、見応えがあります。
・近年、古民家をリノベーションしたレストランなどが増えてきました。街の魅力ある景観づくりや賑わい創出につながっています。

図　用途地域



出典：第 10 回都市計画基礎調査（館山市　H28）

図　館山市街並み景観形成要綱指導地区



出典：第 10 回都市計画基礎調査（館山市　H28）

(5) 地域の祭事・活動

①お祭り

・無形民俗文化財として指定されたお祭りが多くあります。中でも「茂名の里芋祭り」は国指定の重要無形民俗文化財となっており、館山市のみならず国を代表する特徴的なお祭りです。

茂名の里芋祭り

鶴谷八幡宮例大祭

神余日吉神社のかっこ舞

表　館山市内の主なお祭り

月		地区・神社等	無形文化財への指定状況
1	洲宮神社御田植神事	洲宮・洲宮神社	①市指定無形民俗文化財
	厳島神社の湯立神事	西川名・厳島神社	②市指定無形民俗文化財
	古茂口獅子神楽	古茂口・日枝神社	③市指定無形民俗文化財
	洲崎のミノコオドリ	洲崎・洲崎神社	④県指定無形民俗文化財
	鶴谷八幡宮の筒粥神事	八幡・鶴谷八幡宮	⑤市指定無形民俗文化財
2	茂名の里芋祭り	茂名・十二所神社	⑥重要無形民俗文化財
	山荻神社の筒粥神事	山荻・山荻神社	⑦市指定無形民俗文化財
3	曳船祭り	相浜・相浜神社	—
7	波左間区祭礼 南房総地方のミノコオドリ	波左間・諏訪神社 波左間 / 南房総市千倉町川口	⑧国記録選択文化財
	川崎区祭礼	川崎・八雲神社	—
	伊戸区祭礼	伊戸・八坂神社	—
	西岬地区祭礼 海南刀切神社かっこ舞 船越鉈切神社かっこ舞	香・浅間神社 塩見・御嶽神社 見物・海南刀切神社 浜田・船越鉈切神社	⑨市指定無形民俗文化財 ⑩市指定無形民俗文化財
	布良区祭礼	布良・布良崎神社	—
	那古地区祭礼	那古・那古寺	—
	長須賀地区祭礼	長須賀・熊野神社	—
	神余区 神余日吉神社のかっこ舞	神余・日吉神社 神余日吉神社のかっこ舞保存会	⑪市指定無形民俗文化財
	船形地区祭礼	船形・諏訪神社	—
8	館山地区祭礼 新井の御船歌 柏崎の御船歌	館山・館山神社 柏崎・国司神社	⑫市指定無形民俗文化財 ⑬市指定無形民俗文化財
	安房神社祭礼 藤原神社獅子神楽	大神宮・安房神社 藤原・藤原神社	⑭市指定無形民俗文化財
	洲崎神社祭礼 洲崎のミノコオドリ（再掲）	洲崎・洲崎神社 洲崎・洲崎神社	（再掲）県指定無形民俗文化財
9	鶴谷八幡宮例大祭	八幡・鶴谷八幡宮	⑮県指定無形民俗文化財
	正木地区祭礼	正木・諏訪神社	—
10	国中の祭り	亀ヶ原・八幡神社　他	—
	豊房地区祭礼 古茂口獅子神楽	出野尾・十二社神社　他 古茂口・日枝神社 古茂口・古茂口獅子舞保存会	⑯市指定無形民俗文化財
11	房総のミカリ習俗	洲宮神社	⑰県記録選択文化財

出典：館山市の文化財、館山市 PR 冊子

②地区のコミュニティ活動

・館山市では、昭和 53 年以降、各地区にコミュニティ委員会（概ね小学校区）「地域コミュニティ」が発足し、行政との相互の調整機関として館山市コミュニティ連絡協議会も設置され、総合的なコミュニティ施策の推進を図ってきました。
・現在では、地区コミュニティ委員会により、地域の人々のふれあいイベント、健康づくり、環境美化運動、自主防災活動の推進などのコミュニティ活動が行われています。

表　「地域コミュニティ」の主な行事

地区	主な行事
館山地区	・学習会・講演会の開催（対象…コミュニティ委員・地域委員・区長）
	・コミュニティのつどい（芸能祭）開催
	・子供見守り隊への全面協力
北条地区	・広報紙の発行
	・コミュニティ芸能祭の開催
	・地域事業に関する町内要望の取りまとめ
那古地区	・花いっぱい運動の実施（地区花壇に苗の植栽,除草,消毒）
	・歩け歩け大会・ソフトボール大会の開催
	・危険箇所のチェック看板設置（防災）
船形地区	・芸能祭の開催
	・川から海への浄化運動の推進
	・保健推進事業の実施
西岬地区	・西岬小学校（幼稚園・保育園含む）との合同運動会の開催
	・西岬小学校の子ども駅伝大会でのもちつき大会への協賛
	・視察研修会の実施
神戸地区	・球技大会の開催
	・花いっぱい運動の実施（地区花壇に苗の植栽,除草,消毒）
富崎地区	・富崎地区公民館との共催事業
	・地区民参加によるレクリエーション大会
	・旧富崎小学校体育館ワックスがけ,その他校庭草刈等
豊房神余地区	・軽スポーツ大会の実施
	・学習会,研修視察等による委員研修の充実
	・コミュニティのつどいの開催
館野地区	・芸能祭の開催
	・親善球技大会の開催
	・館野・九重親善バレーボール大会の開催
九重地区	・文化芸能まつりの開催
	・夕涼みのつどいの開催
	・館野・九重親善バレーボール大会の開催
各地区共通	・市内一斉清掃実施

出典：館山市資料

③市民等による花のまちづくりの推進

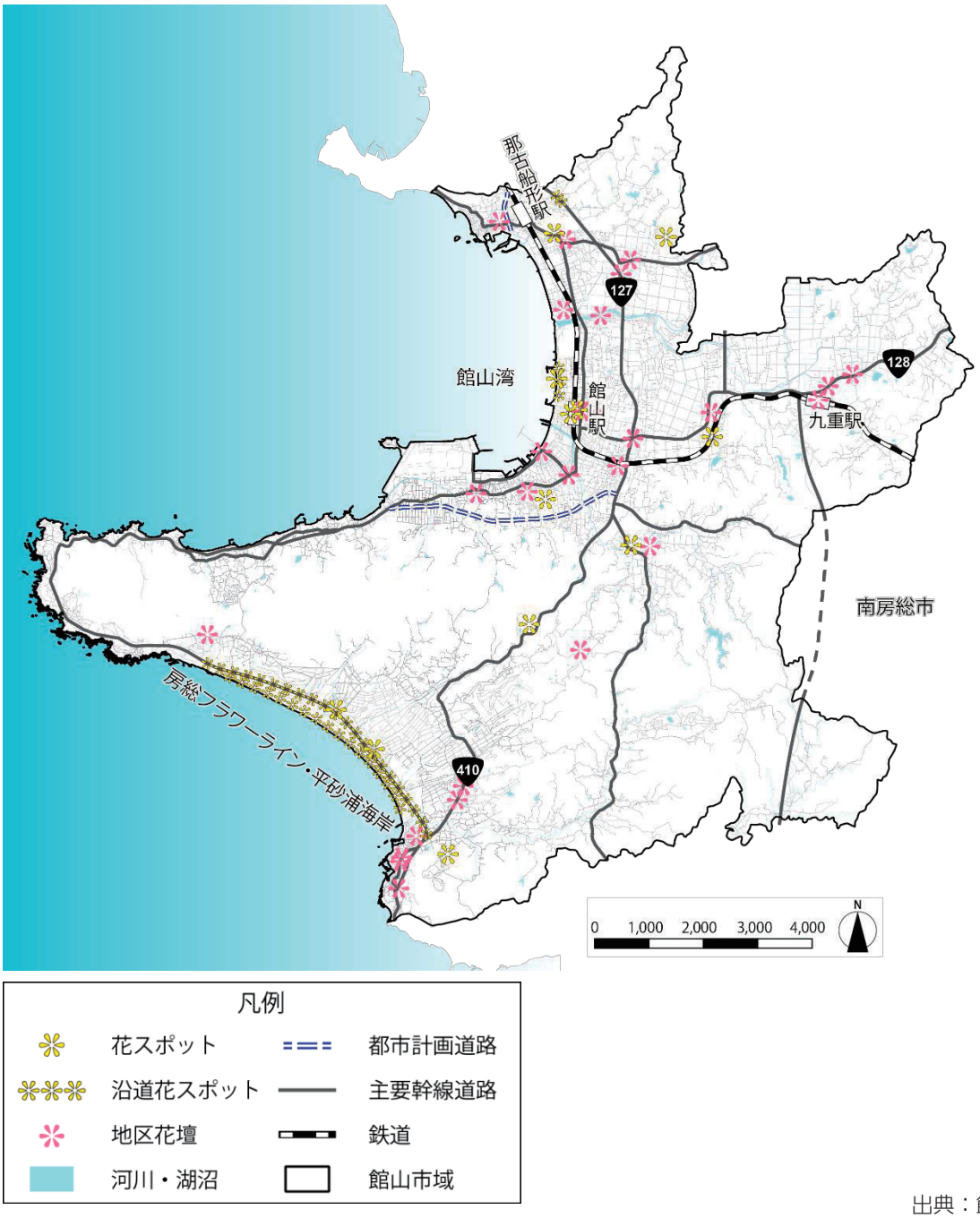
・町内会や各種団体等と行政が協働して花の植栽やガーデニングコンテスト・教室に取り組んでおり、彩りのある街並み景観を形成しています。
・花のまちづくりの取組みの1つとして、市が花の苗を提供し、様々な団体が植栽や管理を行っている地区花壇があり、四季折々の花が観賞できるようマリーゴールド・ポーチュラカ・パンジー等の花を植栽しています。

表　地区花壇

No	名称	植栽場所	実施団体
1	渚の駅前県道沿	館山市北条1564-1	家庭倫理の会 房総
2	下町商店街（全体）	下町商店街内各所	館山市商店街協同組合
3	館山地区公民館	館山市館山305-1	館山地区公民館職員
4	豊津ホール	館山市宮城192-2	豊津ホール職員
5	館山銀座商店街	県道館山富浦線・館山銀座通り全体	銀座商店街振興組合
6	長須賀第八町内会館	館山市下真倉530-43	長須賀第8町内会
7	菜の花ホール	館山市北条1735	菜の花ホール職員
8	湊老人福祉センター	館山市湊288-88	老人福祉センター職員
9	南総文化ホール入口	館山市北条740-1	家庭倫理の会 房総
10	正木向県道沿	館山市正木2052	正木向町内会
11	正木バイパス沿い花壇	館山市正木1900-4	正木上百寿会
12	市民運動場	館山市正木1206-4	那古地区コミュニティ委員会
13	那古寺境内	館山市那古672-1	那古地区コミュニティ委員会
14	神戸地区公民館	館山市犬石1496-1	神戸地区コミュニティ委員会
15	松崎石油前交差点	館山市犬石179	蒲生老人会
16	安房自然村入口	館山市布良600	布良長寿会
17	楫取神社	館山市相浜281-1	二斗田区
18	相浜神社	館山市相浜42	二斗田区
19	出野尾福祉センター入口	館山市出野尾547	出野尾長寿会
20	豊房地区公民館	館山市大戸254-1	豊房地区公民館職員
21	九重駅前ロータリー	館山市二子93	大堀地区花クラブ
22	二子国道沿	館山市二子385-2	大堀地区花クラブ
23	富崎地区公民館	館山市大神宮272-1	富崎地区公民館職員
24	館野地区公民館	館山市国分27	館野地区公民館職員
25	九重地区公民館	館山市薗268-1	九重地区公民館職員
26	船形地区公民館	館山市船形405-2	船形地区公民館職員
27	西岬地区公民館（分館）	館山市伊戸2503	西岬地区公民館職員

出典：館山市資料

図　花のまちづくり活動の分布図



出典：館山市資料